

浪江の中心市街地像

人が集まる
場所がある憩いの場所
がある。待ち合わせ
ができる。そこへ行けば
誰かに会える。年代を問わず
集まる。好きなことを
一緒にする
仲間が集まる。にぎわう
場所があるイベントがある。
→季節毎のイベント
→伝統行事の
復活イベントができる
空間がある。商店・商業が多い。
→必要なものが
揃う。
→なじみの店が
多い。
→駅前が人で
にぎわう。
→楽しい施設が
ある。浪江らしい
場所があるふるさとを
感じられる。新旧のものが
共存する。以前のものが
残っている。重要な文化財が
保存されている。浪江の歴史を
感じられる。暮らしやすい
場所がある高齢者や
障がい者が
安心して暮らせる。近くに病院が
ある。安全面に配慮
されている。一人暮らしでも
安心できる。子どもが安心して
遊べる。労働者が安心して暮
らせる。歩行者と車が共存で
きる安全な道路があ
る。つながる
場所がある町外の人が
多く来る。情報提供の場が
整備されている。施設や場所の
連絡性がある。町外の人と交流
ができる。歩きやすい歩道
がある。歩行者や自転車
に優しい道路が
ある。

※着色は、黄色：第1回検討委員会、緑色：第1回町民座談会、薄青：職員検討会で出された意見。

課題：駐車場がない、郊外からの移動が大変、公共交通が必要人が集まる仕掛けづくりが必要、中心市街地と郊外の役割分担。モニタリングの強化。既存公共施設の利活用。

全体共通

中心市街地に必要な取組案

人の集まり

にぎわい

つながり

空店舗、空家、空地の活用。→1dayショップ、インキュベーション、フリマなど

空店舗、空家、空地の活用。→スーパー銭湯等の交流施設
小学校の利活用→農園、体験学習、文化財保存、高齢者学校

空店舗、空家、空地の活用。→屋台営業、高齢者シェアハウス

暮らしやすい

つながり

自転車^でまちなかを散策。→サイクリングコースや自転車レーンの設置など

歩きたくなる、歩きやすい道路や散策路の確保。

高齢者や障がい者への配慮。

コンパクトタウン。

休憩所の周りなどに商店をコンパクトに集める。

歩道のセットバック。

公営住宅の建設。

シルバー人材センターの活用。

浪江らしさ

つながり

川沿いの空間を活かす。→親水空間、散歩や釣り、桜の景観を楽しむなど

114号線は30m道路なので、広い空間を活かしたデザインのある道路。

浪江らしさ

浪江の歴史が感じられる。→文化財の保護、新旧共存、以前のものを残すなど

浪江再生に前向きな人をまちづくりにとりこむ

駅、駅前周辺

(1) 駅前の資源

- ①浪江駅(スーパーひたちの停車駅)
- ②他の町からも飲みに来ていた飲み屋街
- ③公共施設(地域スポーツセンター、ふれあいセンター)
- ④空き地、空き店舗
- ⑤ポケモン(作者田尻智氏の父親は浪江出身)

(2) 課題 + 方向性

居住とのバランスをどうするか、商工会と町との連携
町内外へアピールできる駅前の顔づくりが必要

(3) 駅、駅前周辺に必要な取組案

駅前に目玉となる核施設→商業系であれば商売していた人の意向が重要

駐車場がないため、確保。 企業誘致。 ポケモンを活かしたPR。 公営住宅の建設。

鉄道利用者を増やす施策が必要→駅前の景観、交流場の確保、きれいなトイレ

橋上駅として、駅南側との連絡性を向上→スポーツセンター、図書館の利用増

観光案内所や町内の地図・サイン→ボランティアの語り部ガイドもいれば。

デマンド交通が駅を経由する→道の駅との連絡性が向上する。

踏切の拡張。

小学校の活用→農園、体験学習、文化財保存、高齢者学校。

高齢者シェアハウス。

新町通り

(1) 新町通りの資源

- ① 伝統文化(野馬追祭、はだか祭り、など)
- ② イベント(十日市、緑のフェスティバル、など)
- ③ 浪江小学校
- ④ 中央公園、新町ふれあい広場
- ⑤ 空き地、空き店舗、空き家

(2) 課題 + 方向性

商店の経営が成り立つモデルケースの確立

浪江らしさを感じる空間づくり(イベント・歴史)魅力的な商店の再生参加が必要

(3) 新町通りに必要な取組案

イベントの復活や個人商店の再開。

愛着のある旧施設の活用。

屋台営業。

114号線との交差点に休憩所を設置。

駐車場の整備。

回遊路の整備。

ソフト事業とハード事業が必要。

統一された外観。

行政と地元の協働。

歩道のセットバック。

デマンド交通を活用した利便性の向上。

一方通行の導入。

平時は休憩所、憩いの場となり、イベント時は会場となる公園が必要。

→きれいなトイレ、噴水、池、イルミネーション、ベンチ、木陰

役場周辺

(1) 役場周辺の資源

- ① 請戸川の桜、高瀬川
- ② イベント(マラソン大会、ロードレース)
- ③ 公共施設(第一体育館、サンシャイン浪江)
- ④ ロードサイド店の空き店舗、駐車場
- ⑤ 浪江東中学校
- ⑥ 災害公営住宅、再生賃貸住宅
- ⑦ 介護老人福祉施設貴布祢

(2) 課題 + 方向性

国道6号を軸として、沿道系施設の誘致
役場東側の小・中学校や災害公営住宅等、駅前や新町通り、道の駅との連絡性
道の駅を町内外へ浪江をPRする場所とし、新規居住者の生活環境の向上が必要

(3) 役場周辺に必要な取組案

国道6号沿いに沿道系施設が必要。→ないと対外的に寂しい印象を持たれる。

道の駅は外へ発信する、浪江をPRする場所として確立させる必要がある。

国道6号を挟んで反対側で進行している計画があり、人は集まるのでは。